

平成27年度

事業報告書



公益財団法人草津市コミュニティ事業団

目 次

要旨	1
I 主な公益目的事業	2
1. コミュニティ振興及びまちづくりに関する事業	
(1) まちづくり振興	
ア 市民公益活動団体等の交流促進	
イ まちづくりに関する情報の収集および発信	3
ウ まちづくりに関する相談およびコンサルティング	4
エ まちづくりに関する人材育成および研修	5
オ 活動支援および資金助成	
カ その他、各種団体との協働事業の推進	6
(2) まちづくりセンター	7
2. 高齢者福祉及び多世代交流に関する事業	
(1) なごみの郷	8
(2) 長寿の郷ロクハ荘	
(3) 高齢者コミュニティ	9
3. 環境及び公園緑地等に関する事業	
(1) ロクハ公園	10
(2) 児童公園等	11
4. 社会教育及び文化・スポーツに関する事業	
(1) 草津クレアホール	12
(2) 草津アミカホール	
(3) 文化・芸術	14
(4) スポーツ振興	
5. その他の事業	
(1) 事業団ファンクラブ	
II 主な収益等事業	15
1. 公共施設管理	
2. 収益活動	16
III 重要な契約に関する事項	17
1. 指定管理業務	
2. 受託業務	
3. 委託業務	18

要 旨

平成27年度は、当事業団の果たすべき役割の実現のため、市民自治の活性化に向けた中間支援組織としての機能強化を図りながら、志を同じくする人々や必要とする人々を結ぶ「かけはし」となり、地域、企業、行政等の様々な関係する多くの主体が協働できる仕組みづくりとその支援を図ることを目指し、「革新（イノベーション）に挑み、新たな一步を踏み出そう！」を合言葉に、職員全員が中間支援組織のプロとしての自覚を持ち、オール事業団として仕事に取り組むことを基本方針として、様々な事業を展開しました。

以下、このような基本方針に基づき事業計画に記載した下記3点の【重点事項】に沿って事業の概要を報告します。

1 地域まちづくりにおける中間支援の推進と認知力向上

協働のまちづくり条例における中間支援組織として、「パワフル交流・市民の日」等を通して市民公益活動団体の交流促進と裾野の拡大に努めました。また、まちづくりに資する相談窓口として、法人化や事業展開の仕方から事業計画や組織運営に関することまで、「困ったら事業団」と思ってもらえるよう各種支援を行いました。特に、まちづくり協議会に対する支援では、事業団が持つノウハウやネットワークを活用しながら、職員では対応の難しい専門性の高い相談や業務についても、専門性を有するNPOへ委託し、配置した協働コーディネーターを活用しながら対応しました。さらに、事業団が発信するまちづくり情報の発信拡大と事業団の認知力を高める媒体である、情報誌「コミュニティくさつ」を全戸に配布することで、その強化を図りました。

2 中間支援組織としての機能強化

「人と街の未来をつくるカレッジ」として、地域コミュニティ活性化のための学習機会を、集合研修や個別支援を通して提供しました。また、「コミュニティ・ビジネス講座」や「NPO実務講座」などテーマを絞った講座を開催し、関連する組織や人材を対象に活動支援を行うとともに、「ひとまちキラリ助成」を通じ、活動団体の立ち上げや連携協力を促進しました。なお、今年度は、各種団体との連携協力を進めるため、社会教育関係団体等が最適な形で活動できる環境の整備について調査研究を行い、報告書にまとめ、市へ提案しました。さらに、各種団体や組織等が行う事業に対し職員の派遣や事業へ積極的に参加するとともに、特に、同じ中間支援組織である市社会福祉協議会と連携し、なごみの郷やロクハ荘において福祉に関する事業を行いました。

3 指定管理施設の新たな社会的価値の創出

指定管理を行っている全6施設については、単なる貸館や温浴施設等の施設管理だけでなく、市の政策を支援する運営をもって管理することで、事業団が目指すコミュニティの健全な発展と協働のまちづくりの実現に寄与しました。たとえば、まちづくりセンターでは、運営協議会事務局の他、市民公益活動の日を設け公益性を高めようとする団体の活動支援や、ふらっとサロンを使った事業としてママ・コミュニティ事業を行い、子育て中の世代間交流を促進しました。また、なごみの郷やロクハ荘では、昨今、課題となっている健康寿命を延ばす各種事業をはじめ、いきがいのある豊かな生活の支援や多世代が楽しく集いふれあう空間の提供まで、多様な事業を通して高齢者の福祉および多世代交流を進めました。また、ロクハ公園では、公園緑化活動や自然環境に身近にふれあえる公園として、カブトムシ観察等の自然観察会や花壇づくり等の環境美化活動を通して、自然や環境に関する学びの機会を提供しました。そして、草津アミカホールと草津クレアホールでは、鑑賞型事業から市民参加型事業まで多彩なプログラムを実施するとともに、市民創作ミュージカルや学校や地域へ制作プログラムを届けるアウトリーチ事業といった地域に密着した施策を展開しました。このことにより、市民文化の創造と市民文化の普及・振興に努め、子どもから大人まで多くの市民の方々に喜んでいただくことができました。

I 主な公益目的事業内容

1. コミュニティ振興及びまちづくりに関する事業

(1) まちづくり振興

(執行済額／予算額 11,539／13,060千円)

地域まちづくりにおける中間支援を推進するとともに、中間支援組織としての機能強化を図るため、各種事業を行いました。

ア. 市民公益活動団体等の交流促進

(758／1,263千円)

① パワフル交流・市民の日

『市民ふれあい秋まつりinくさつ』の名称で「福祉を考える市民のつどい」「くさつ市民アート・フェスタ2015」と合同で開催し、参加団体間および来場者との交流機会を創出しました。また、これまで当該事業に関わりのない団体に対し、事業への参加を呼びかけ、担い手の裾野拡大に努めました。

11月7日 草津市役所 来場者数 1,500人



② くさつ子どもフェスタ

実施場所の野村運動公園で実施できる最終年度となることから、ファイナルと位置付け、子どもに関わる市民活動団体や各種団体、ボランティアの協力により、盛大に執り行いました。

1月17日 野村運動公園 来場者数 1,600人

イ. まちづくりに関する情報の収集および発信

(5,012/5,156千円)

① まちづくり情報誌「コミュニティくさつ」

市の協力により今年度から町内会回覧から全戸配布へと切り替えました。各回の発行部数も6,300部から57,000部へと拡大し、事業団および市内におけるまちづくり情報の周知と事業団の認知につながりました。

<年間テーマ一覧>

6月15日号 「公園は誰のもの」

9月15日号 「“もしもの備え”～やってみなけりゃ、わからない～」

11月1日号 「まち時間・じぶん時間」

3月15日号 「お父さん、出番ですよ。」

<読者からの意見数>

6月15日号 46件

9月15日号 50件

11月1日号 17件

3月15日号 50件



② 「つながりのめ」「ゆうゆうびとバンク」「誘・遊・友」

市民公益活動団体の裾野の拡大と団体同士の連携や協働のまちづくりを推進するため、市民公益活動団体同士の基礎情報を収集し、「つながりのめ」として発行しました。また、学習ボランティア、生涯学習機会の情報を掲載するため、市から受託し、「ゆうゆうびとバンク」「誘・遊・友」を発行しました。あわせて、学習ボランティアの学びを積極的に活かして社会参加を促すため、事業団施設を活用し、「なごみ “ゆうゆうcafe”」を実施しました。

<発行部数>

「つながりのめ」	500部
「ゆうゆうびとバンク」	150部
「誘・遊・友」	700部



なごみ “ゆうゆうcafe”

第1回 3月8日 参加者18名 第2回 3月15日 参加者18名
草津迷術会 「珈琲とマジックを楽しむ昼さがり」

ウ. まちづくりに関する相談およびコンサルティング (2,969/2,969千円)

① まちづくり相談窓口・協働コーディネーターの設置

市民公益活動団体からは事業展開や法人化、また、まちづくり協議会などからは事業・組織の運営、まちづくり計画等の相談に対応しました。このまちづくり相談は、地道な事業ながら中間支援組織としての根幹をなすことから「困ったら事業団」と思ってもらえるよう注力しました。また、「提案事業報告会」、「まちづくり協議会向けガイドの作成」などの業務や高度な専門性が必要な相談については、専門性を有するNPOに委託のうえ、協働コーディネーター業務として行いました。

<コーディネーター業務実績一覧>

まちづくり協議会向け研修企画助言、コーディネート
まちづくり協議会先進地視察先に関する助言
まちづくり協議会計画づくり、事業推進に係る講演
まちづくり協議会向けガイド作成
ICT活用に関する研究会講師
コミュニティ・ビジネス講座、NPO実務講座企画助言
NPOの法人化に関する相談対応
協働のまちづくり推進計画評価委員会に関する助言
市民まちづくり提案事業報告会コーディネート
市職員NPO派遣研修コーディネート
市関係課からの相談対応

<職員によるまちづくり相談対応件数>

103件

エ. まちづくりに関する人材育成および研修（※ウ.まちづくりに関する相談およびコンサルティングを含む）

① 人と街の未来をつくるカレッジ

地域コミュニティ活性化のための学習機会を提供するものとして、市からの依頼を受け、まちづくり協議会役員および職員向けの集合研修（９回）と地域からの要望に応じたワークショップ、専門家派遣などの個別支援（７か所）を行いました。当該事業を通じ、事業団が持つノウハウやネットワークを活用し、まちづくり協議会との関わりを拡大しました。また、このことにより市の「草津市協働のまちづくり・市民参加推進評価委員会」において、まちづくり協議会支援の窓口として位置づけられ、今後も当事業団の更なる中間支援が期待されています。

オ. 活動支援および資金助成

（1,291／1,647千円）

① コミュニティ・ビジネス講座

身近な生活課題をビジネス的手法で解決するコミュニティ・ビジネスの取組みについて学びながら、事業を継続的に行うポイントを学ぶ講座を行いました。

第1回 2月20日 参加者14名 第2回 2月27日 参加者14名

講師：堀野巨求氏（大阪NPOセンター）「自分を知ってパワーアップ！」

② NPO実務講座

「ボランティアをする」「会員になる」「寄付をする」など、NPOが次なる活動展開に向けて必要なターゲット層から共感を得て、行動に移してもらうための伝え方について学ぶ講座を行いました。

第1回 2月26日 参加者21名 第2回 3月4日 参加者12名

講師：東信史（有限責任事業組合まちとしごと総合研究所）

「ちょこっと驚く、伝える力アップ講座」

③ ひとまちキラリ助成

市民公益活動団体の立ち上げや連携協力を助成を通じて促すため、ひとまちキラリ助成事業を実施しました。今年度は応募要項やパンフレットを大幅に見直し、提案団体数の増加や連携協力枠の提案拡大につなげました。

【継続助成団体】2団体（2年目）

＜立ち上げ支援部門＞

・老上で農業生活をたのしもう

〈老上西農業合校〉

・市の花「あおばな」の普及活動

〈湖南農業あおばなで染める会〉

【新規助成団体】3団体（1年目）

＜立ち上げ支援部門＞

- ・消えゆく民具の保存と継承事業 〈ふるさと玉川「民具を照らす会」〉
- ・子育てサロン コスモスの会 〈コスモスの会〉
- ・びわスポ☆ 〈びわこてらこや〉

【28年度助成決定団体】3団体

＜連携・協力部門＞

- ・この先もずっと未来にわたり、住みたいまちへ！ / 志津南緑化ボランティアの会

＜立ち上げ支援部門＞

- ・出不精の男性を引張り出そう うどん作り / 小野山麺くいの会
 - ・草津がSwingする町へ！ / 立命館大学JAZZ CLUB Σ Spirits Jazz Society
- 2015(2016)

力、その他、各種団体との協働事業の推進

① 社会教育関係団体の活動場所の最適化に関する研究会

社会教育関係団体が最適な形で活動ができるよう、団体への支援策、公共施設のあり方について検討する研究会を実施しました。研究会の内容をとりまとめた報告書を作成し、市生涯学習課に提出しました。

② 各種団体との協働事業の推進

他の団体や組織等が行う事業等の内、事業団の事業方針に合うものを選択し、職員派遣、事業参加を行いました。

＜主な実績＞

- ・草津納涼まつり、大路区民まつり 実行委員派遣
- ・草津市協働のまちづくり・市民参加推進評価委員会
（市まちづくり協働課）事務局参画
- ・旧笠縫地域のふるさと絵図作成勉強会 職員派遣
- ・草津市災害ボランティアセンター運営協議会（市社協） 職員参画
- ・大学等への講師派遣

市民公益活動を支える中間支援センターとして、適正な管理運営を行いました。

- ① センター全体の利用状況は今期、利用件数7,824件、利用者数138,167人で利用料金は17,891千円となり、前年同期の対比では、件数約10%、利用者数約4%、利用料金約15%とそれぞれ増えました。
- ② センターの休館日に、公益性を高めようとする市民団体に施設の一部を貸し出す「市民公益活動の日」は計10日間開館し、14団体が利用、約190人が参加されました。また、子育て支援として展開している「ママ・コミュニティ」をはじめとするセンターのふらっとサロン活用事業は計7回実施し、約320人の方々に参加いただきました。
- ③ 基礎的コミュニティへの支援として行っているまちづくり機器の貸し出しについては、約30種類の機器をのべ658回貸し出し、前期に比べ約9%増えました。



2. 高齢者福祉及び多世代交流に関する事業

(1) なごみの郷

(執行済額／予算額 59,082／63,443千円)

仲間どうしの交流や好奇心を満たす学びなどを通して、様々な出会いとふれあい、いきがいを感じて過ごしていただける「くさつ多世代幸齢者ステーション」として、適正な管理運営を行いました。

- ① 施設全体の利用者数は、今期のべ88,573人となり、前年同期の対比は約4%減りました。また、温浴施設の利用者数は、のべ56,328人で、前年同期の対比は約5%減りました。しかしながら利用料金は7,521千円となり、ほぼ今期の収入見込みどおりとなりました。
- ② 今年度、多世代が楽しく集いふれあう空間の提供として、従来からあった喫煙室を移動し、その場所を新たにキッズルームとして改装することで、これまで利用の少なかった親子づれ世帯へのPRに努めましたが、まだ認知度が低く改善が必要だと考えます。
- ③ また今年度は、介護予防・日常生活支援総合事業を支援する新たな試みとして、同じ中間支援組織である社会福祉協議会と共催で同協議会の地域サロンと連携した「とく・得くバスツアー」を2回行ったところ、約130人の方々に参加いただきました。

(2) 長寿の郷ロクハ荘

(執行済額／予算額 49,009／52,928千円)

高齢者が心身ともに健康で長生きしていただけるよう、また様々な出会いとふれあい、安らぎを感じて過ごしていただける「健康長寿くさつを目指す幸齢者ステーション」として、適正な管理運営を行いました。

- ① 施設全体の利用者数は、今期のべ62,115人となり、前年同期の対比は5%減りました。また、温浴施設の利用者数は、のべ38,296人で、前年同期の対比は約4%減りました。しかしながら利用料金は5,248千円となり、ほぼ今期の収入見込みどおりとなりました。
- ② 今年度、隣接するロクハ公園との連携強化を図るため、職員の相互交流や共同事業の試行実施など、次期指定管理受託を見据えた施設運営を行っています。また、さくらまつりや夏まつりの各種事業は、地元町内会（ロクハタウン、上尾町内会）やボランティアといった地域住民と協働で企画や運営を行いました。
- ③ また今年度は、介護予防・日常生活支援総合事業を支援する新たな試みとして、同じ中間支援組織である社会福祉協議会と共催で、同協議会の地域サロンと連携した「とく・得

くバスツアー」を2回行ったところ、約120人の方々に参加いただきました。

（３）高齢者コミュニティ

（執行済額／予算額 2,611／3,643千円）

なごみの郷および長寿の郷ロクハ荘において、高齢者の福祉および多世代交流に資する事業として、各施設を日頃ご利用いただいている同好会やボランティアの皆さんと一緒に、カラオケ大会やお楽しみ会、また夏まつりなどの各種事業を行いました。



3. 環境及び公園緑地等に関する事業

(1) ロクハ公園

(執行済額/予算額 38,762/39,925千円)

「人と街と未来にコミュニケーションする緑住文化都市～ガーデンシティ草津への挑戦～」を目指し、身近に公園緑化活動や自然環境に触れることができる公園として、適正な管理を行いました。

- ① プールの利用者数は、今期のべ73,373人で利用料金は34,308千円となりました。前年同期の対比は、利用者数、利用料金とも約6%増えましたが、予算見込みの利用者数73,500人には若干とどかず、また利用料金も約812千円の減収となりました。これは8月後半の気温が低く、利用者が伸びなかったことが大きな原因だと考えます。
- ② 今年度、隣接するロクハ荘との連携強化を図るため、職員の相互交流や共同事業の試行実施など、次期指定管理受託を見据えた施設運営を行いました。
- ③ 新たに供用開始されたキャンプ場については、釜戸等の施設整備や夜間利用のための規定整備等の市の対応が遅れており、現時点では利用いただけませんが、市の対応が整い次第、利用いただけるよう管理は適正に行いました。
- ④ 「緑化フェア・ロクハ大感謝祭」を10月24日(土)に開催し、約8,000人の方にご来園頂きました。また、イベントの様式や公園の魅力をインターネットなどのツールを活用し発信することで、PRに努めました。
- ⑤ プール閉鎖期間の12月5日から2月14日まで「落ち葉プール」を開催したところ、4,750人(前年度の1.5倍)の入場がありました。また、同時に段ボール迷路やふれあい図書などのコーナーも併設しました。



市内約310か所の児童公園等の維持管理については、巡回点検を行い、不良箇所・危険箇所の早期発見に努めるとともに、草刈機等の環境緑化機器などの無料貸し出しや技術指導を通して、市民が主体となって行う公園管理の側面的な支援を行いました。また、環境学習事業として自然観察会や昆虫ウォッチング等を行いました。さらに、11月28日から1月11日までの間、今年度で3回目となる「2015イルミナ★ワンダーランド」をJR南草津駅前の東山道記念公園で開催し、南草津の街を彩りました。



4. 社会教育及び文化・スポーツに関する事業

(1) 草津クレアホール

(執行済額／予算額 62,182／67,964千円)

「人と街と未来にコミュニケーションする文化創造ホール」の運営理念のもと、市民文化の創造と普及・振興のため、子どもから大人まで多くの市民に喜んでいただける施設として、適正に管理運営を行いました。また、下半期には次期指定管理受託を見据え、クレアホール・アミカホールの2館一館体制の効果や課題等を検証し、市に対する提言を行いました。

- ① 施設全体の利用状況は、今期、利用件数のべ2,033件、利用者数のべ135,993人、施設利用料金は13,991千円となりました。また、ホールの利用状況は、開館日数308日に対し利用日数171日で利用率は約55.5%となりました。(今年度は移管1年前からの受付は県が管理)
- ② 通常の事業の他、これまでにないホール利用の試みとして避難訓練とコンサートを同時に行う避難訓練コンサートを行い、劇場で地震、火災に遭遇した際の行動、心構え等、市民のみなさんと考える機会を提供しました。今回は消火活動までの訓練とはなりませんが、この訓練を通して普段、予測していない日常業務の見直しにも大変役立ちました。また、この事例から県びわこホールに於いて避難訓練コンサートが実施されるなど、県下に広がりを見せています。
- ③ 多くの市民参加型創造事業を実施する中で、FMくさつサテライトスタジオ「クレアスタジオ」を実施し、自主事業の告知を含めさまざまな情報発信に活用しました。この試みは、市民自らがパーソナリティーとなって生の声を届けられ、事業の集客にもつながりました。
- ④ 文化庁からの委託を受けた(公社)全国公立文化施設協会が行う「劇場・音楽堂等への芸術文化活動支援」事業の採択を受け、派遣された専門家から施設の機能の維持と現在の価値を回復させるために必要な改修に関する指導助言に基づき、中長期施設整備計画に取り組みました。

(2) 草津アミカホール

(執行済額／予算額 24,454／ 27,177千円)

「草津をまるごと劇場に！アウトリーチする文化ホール『made in くさつ』の文化に挑戦」をテーマに、市民参加、市民企画を主に幅広い世代のニーズに応え、適正な管理運営を行いました。

- ① 施設の利用状況は、今期、利用件数のべ1,415件、利用者数のべ48,489人となり、自主事業を2館によるすみわけを行ったことにより前年同期と対比すると件数、人数ともに減少傾向となりました。しかしながら、貸館件数はほぼ横ばいとなっており、利用料金は8,592千円となりました。
- ② 今年度5期生となる草津市民創作ミュージカルKAMと新しくクリアホールミュージカルチームとして草津歌劇団を結成。オーディションに合格した小学生1年生～中学生63名が総合舞台芸術の基礎から学び、草津を紹介するオリジナルミュージカル『青花の約束』と『くさつ花めぐりショー』を披露し、4回公演で約2000人を動員しました。
- ③ 文化庁からの委託を受けた（公社）全国公立文化施設協会が行う「劇場・音楽堂等への芸術文化活動支援」事業の採択を受け、派遣された専門家からのホール事業の企画・実施、施設の管理・運営等に関する指導助言に基づき、草津市の芸術文化活動の活性化に取り組みました。



（３）文化・芸術

（執行済額／予算額 449／1,250千円）

学校や地域へ出向くアートセンター、アウトリーチ事業については、市内の小学校を中心に、舞台芸術等の体験を通して、子どもたちに本物に触れる機会を提供しました。また、草津市の文化芸術に関する情報提供と交流の場を目的とするアートセンター事業は、小学校音楽鑑賞会の企画プロデュース、子育て支援センターサマーコンサートの制作、ミュージカルショー『草津花めぐり』の依頼公演等、市民とアーティストをつなぐお手伝いやアートを通じたまちづくり活動を支援しました。



（４）スポーツ振興

事業団が出資する合同会社草津市スポーツ振興事業体の業務執行社員の一員として、スポーツ施設の運営管理を行うとともに、（一社）草津市体育協会、各種スポーツ協会等が主催するスポーツ事業等を通してスポーツ振興と市民相互のふれあいや地域連携意識の高揚を図り、ひいては協働のまちづくり活動に寄与しました。

5. その他

（１）事業団ファンクラブ

（執行済額／予算額 253／259千円）

設立30周年を機に創設した事業団ファンクラブ「まち活マッチの会」は2年目を迎え、事業団各施設や地域開催でのイベントにおいて、さらなる事業団の周知と事業団が取り組む様々な活動に協力・支援していただくファンクラブの会員勧誘活動を積極的行いました。

（今期会員数 182人／前年度会員数 68人）



Ⅱ 主な収益等事業

1. 公共施設管理

公共サービスの充実や公益目的事業に付随する事業を行うことにより、住みよいまちづくりに寄与することを目的として、公共施設の適正な管理等を行いました。

① 道の駅草津駐車場

「道の駅草津」駐車場の運営管理を受託し、ドライバーの安全で快適な運転に要する休憩の場を提供しながら、草津の文化、歴史、名所などの紹介や地元産物の販売など、県内外からの利用者にとって草津の玄関口となる多機能型の施設として、適正な管理を行いました。

② まちづくりセンター貸館

市民活動の推進に寄与するために運営している市立まちづくりセンターの一般貸館を行いました。一般貸館は市民活動団体の利用の妨げにならないよう、センター3階部分のみとしました。

③ ロクハ公園（プール事業）

ロクハ公園プールの運営管理を行いました。なお運営管理については、安全確保に万全を期すため専門業者に委託する方式としました。

④ なごみの郷、ロクハ荘、クリア・アミカホール、児童公園等、各施設の維持管理

なごみの郷とロクハ荘に設置されている温浴施設をはじめ、クリアホールやアミカホールの施設管理を、より一層の経費節減に努めながら適正に行いました。また、市内児童公園等の遊具補修や高木の剪定業務など、地元住民による自主管理では対応が困難な維持補修業務を行いました。



2. 収益活動

公益目的事業の実施や法人運営のための費用を捻出することを目的として、次の事業を行いました。

① 野村月極駐車場

（仮称）野村スポーツゾーン整備計画に伴い、予定どおり9月末をもって契約者との大きなトラブルもなく、無事に閉場しました。今期の事業収益は、2,907千円で見込よりも約612千円の増収となりました。



Ⅲ 主な契約に関する事項

1. 指定管理業務

施設名	契約名	相手方	契約金額（円）
まちづくりセンター	草津市立まちづくりセンターの管理に関する協定	草津市	25,682,000
なごみの郷	草津市立なごみの郷の管理に関する協定	草津市	72,526,000
長寿の郷ロクハ荘	草津市立長寿の郷ロクハ荘の管理に関する協定	草津市	61,843,000
草津市公園事務所	草津市都市公園（ロクハ公園）の管理に関する協定	草津市	24,190,000
草津アミカホール	草津市立草津アミカホールの管理に関する協定	草津市	32,321,000
草津クレアホール	草津市立草津クレアホールの管理に関する協定	草津市	96,199,000

2. 受託業務

施設名	契約名	相手方	契約金額（円）
道の駅草津	道の駅草津駐車場等管理運営業務	草津市	15,665,000
草津市公園事務所	児童公園等維持管理業務	草津市	64,059,000

3. 委託業務

施設名	業務名	入札 随契	契約業者名	契約額(円)	摘要・随契理由
まちづくり振興課	情報誌「コミュニティくさつ」印刷 および配送業務	入札	株式会社スマイ印刷工業 草津営業所	3,412,800	
	協働のまちづくり推進のための サポート業務	随契	認定特定非営利活動法人 しがNPOセンター	2,400,000	事業団経理規程21条1-(1) 必要とする専門的な知識・技能・実績を有する団体が 県内に他にないため
まちづくりセンター	日常・中間・年末清掃業務	随契	(株)テクノス総合メンテナンスサービス	2,450,088	平成26年度入札実施 事業団経理規程21条2 諸負等の契約に関する要綱第3条第4項
なごみの郷	温浴施設管理業務および清掃業務	入札	(株)サンアメニティ滋賀支社	8,961,840	
	巡回バス運行業務	入札	滋賀観光バス草津営業所	8,856,000	
	灯油購入	入札	(株)クサネン	4,966,920	
	温浴設備等保守管理業務	入札	(株)光ビルサービス	2,221,560	
	環境衛生管理業務	入札	(株)光ビルサービス	1,436,400	
長寿の郷ロクハ荘	風呂等日常清掃及び施設管理 利用券確認業務	入札	(株)サンアメニティ滋賀支社	8,837,640	
	巡回バス運行管理	入札	(有)レグバティ	3,939,840	
	総合メンテナンス	入札	ビル管財(株)	1,395,360	
草津市公園事務所	プール等管理運営業務	随契	(株)サンアメニティ滋賀支社	18,576,000	ロクハ公園 事業団経理規程21条1-(1) 当該業務に必要な深い知識と豊富な経験を有する 質の高いスタッフの確保が可能のため
	草津市内児童公園等 植栽維持管理業務	随契	草津造園協同組合	8,924,679	児童公園 単価契約 事業団経理規程21条1-(1)
	ロクハ公園駐車場管理 路上警備業務	入札	東和警備保障(株)	2,792,624	ロクハ公園 単価契約
	草津市内児童公園等 便所清掃業務	随契	社会福祉法人にぎやか会	2,336,720	児童公園 事業団経理規程21条1-(8) 障害者支援施設等からの役務の提供を受ける契 約であるため
	草津市内児童公園等刈草等 収集運搬業務	入札	㈱三峰環境サービス	2,082,240	児童公園 単価契約8,640円/1公園
	草津市内児童公園等遊具等 保守点検業務	入札	株式会社トーテック	1,981,044	児童公園
	込田公園清掃業務	随契	特定非営利活動法人すまいる	1,922,400	児童公園 事業団経理規程21条1-(8) 障害者支援施設等からの役務の提供を受ける契 約であるため
	ロクハ公園プール水泳教室 管理運営業務	随契	(株)サンアメニティ滋賀支社	1,034,910	ロクハ公園 事業団経理規程21条1-(1) 当該業務に必要な深い知識と豊富な経験を有する 質の高いスタッフの確保が可能のため
	草津市内児童公園等外構施設保守点 検業務	入札	(有)オーミ公安施設	1,016,496	児童公園
アミカホール	舞台機構保守点検業務	随契	三精テクノロジーズ㈱	1,114,560	事業団経理規程21条1-(1) 設置メーカーであり、設置状況等に精通しているた め
クレアホール アミカホール	舞台管理業務	随契	(有)アートファクトリー	23,441,120	事業団経理規程21条1-(1) 当該業務に必要な深い知識と豊富な経験を有する 質の高いスタッフの確保が可能のため
クレアホール	日常清掃・定期清掃業務	入札	(株)テクノス総合メンテナンスサービス	2,038,219	
	舞台照明設備保守点検業務	随契	パナソニックESエンジニアリング㈱	1,393,200	事業団経理規程21条1-(1) 対象機器の製造業者であり、保守管理等と一体性 を図る必要があるため
道の駅草津	道の駅草津駐車場・ふれあい広場 維持管理業務	随契	(有)からすま農産	2,831,371	事業団経理規程21条1-(1) 道の駅草津を運営する事業者であり、既存事業と 技術、経験等について一体性を図る必要性がある ため
	簡易パーキング内トイレ清掃業務	随契	(有)からすま農産	1,815,048	事業団経理規程21条1-(1) 道の駅草津を運営する事業者であり、既存事業と 技術、経験等について一体性を図る必要性がある ため
	道の駅草津植物管理業務B工区	入札	竹村造園	1,220,400	

※契約金額が100万円を超える業務のみ記載